

## HT682 ハンディターミナル

- HT682 -



**取扱説明書**

400974G バージョン 0.3



## はじめに

### 本マニュアルについて

本マニュアルは、HT682 Windows CE ハンディターミナルのインストール、操作、そして保守方法について説明しています。

本書のいかなる部分もユニテック社からの書面による許可なしで、いかなる形式でも、電子的あるいは機械的を問わず複製することはできません。これは、フォトコピー、レコーディング、あるいは情報の保存と検索システム等の電氣的もしくは機械的な方法を含んでいます。本書の内容は予告なく変更することがあります。

© Copyright 2013 Unitech Electronics Co., Ltd. 版權所有。

ユニテック・ジャパン Web サイトアドレス: <http://jp.ute.com>

Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です。



Microsoft, Windows と ActiveSync は Microsoft Corporation の登録商標もしくは商標です。本マニュアルで記述されている他の商品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。



Unitech は Oracle Embedded Software Licensing Program のメンバーです。

# 認証について

---

## FCC 認証について

本装置は、FCC 規則パート 15 に対応するクラス B デジタルデバイスに対する制限に従ってテストされ、作られています。これらの制限は、居住のための設置における有害な干渉に対して適当な保護を提供するために設計されました。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用そして放射することができ、そして、規定に従ってインストールおよび使用がされない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかし、干渉が特定のインストールで起こらないという保証はありません。もし本装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、これは機器の電源をオンまたはオフにすることによって解決することができます。ユーザは、以下のいずれかの方法で干渉をなくすることができます。

- 受信アンテナの方向を変えるか、場所を変える。
- 本装置と受信機の間を離す。
- 本装置の電源を受信機が接続されている電源と別なところからとる。
- 販売店または経験のある無線/テレビ技術者に相談する。

1. 本送信機は、他のアンテナあるいは送信機と結合して配置もしくは操作してはいけません。
2. 本装置は、規制を受けない環境に対する FCC 電波放射制限に適合しています。FCC 電波放射の要求に対応し続けるには、送信中に送信アンテナに直接触れることは避けて下さい。
3. 製造者によって明示的に許可されない本装置の何らかの変更または修正(アンテナを含む)は、機器を使用するユーザの許可が無効になることがあります。

## FCC ラベルについて

本装置は、FCC 規則パート 15 に対応します。動作は以下の二つの条件によります：

1. 本装置は有害な干渉を起こさないかもしれませんが、そして、
2. 本装置は、予測しない動作を起こすかもしれない干渉を含む何らかの干渉を受けることを認めます。

## 無線電波放射防護について

人体に装着して操作する場合において、内蔵されている携帯電話は、金属を含まないアクセサリと共に使用した場合、そして人体から最小 1.5 cm のハンドセットの位置で、FCC の無線電波防護指針によりテストし合致しております。他のアクセサリの使用については、FCC 無線電波防護指針には対応していないことがあります。

## カナダの認証について

このクラス B デジタル装置は、Canadian Interference-Causing Equipment Regulations (カナダ干渉発生機器規定) のすべての要求を満たしています。

## 欧州における規定について

R&TTE 1999/5/EC および EMC 89/336/ EEC 指令に関する適合宣言。

## RoHS について



本装置は欧州連合の規定である電子機器で使用される有害物質の含有についての制限 RoHS (Reduction Of Hazardous Sub-stances) に適合しております。

## 台湾 NCC 警告について

省略。

## レーザーについて

Unitech HT682 シリーズは、DHHS/CDRH 21CFR Subchapter J 要件と IEC 825-1 要件に適合するために米国で認証されております。Class II と Class 2 製品は危険であるとは考えられておりません。HT682 シリーズは上記の規制の最大値を越えることのない可視レーザーダイオード(VLD) を内蔵しています。スキャナは通常の使用、メンテナンスあるいは規定のサービス操作では人体に害のあるレーザー光ではないように設計されています。

HT682 シリーズについて DHHS/IEC によって要求されるレーザー警告ラベルは本体の背面にあります。

**注意！** この仕様以外の方法でコントロールあるいは調整もしくは使用することは、レーザー光が危険になることがあります。スキャナと光学機器を使用すると目の危険が増加します。光学機器は、双眼鏡、顕微鏡、そして拡大鏡を含みます。これにはユーザがかけている眼鏡は含みません。

## バッテリーについて

HT682 はリチウムイオンバッテリーパックとニッケル水素バックアップバッテリーを内蔵しています。いずれのバッテリーも長時間使用されなかった後ではバッテリーが放電します。

両方のバッテリーが放電した場合、メインバッテリーとバックアップバッテリーを完全に充電するために本装置を12時間以上充電します。以下の方法で HT682を充電します。

1. HT682にUSB・充電ケーブルを接続し、USBコネクタのDCジャックに 5V/3A AC-DC アダプタを接続します。
2. HT682 をクレードルに置いて、5V/3A AC-DC アダプタのDCプラグをクレードルのDCジャックに接続します。

もしメインバッテリーを外した場合、バックアップバッテリーはSDRAM にデータを2時間以上保持します。データが失われることを避けるために、HT682 のメインバッテリーを長期間にわたり充電しないか、あるいは外さないで下さい。詳しくは、バッテリーの充電方法をご覧ください：

**ノート！** 充電可能なバッテリーは、最適な性能を保持するためには、毎年、あるいは500回の充電/放電を行ったら交換して下さい。一年以上の使用、または500回以上の充電を行ったバッテリーが、膨張するのは一般的です。これは危害を起こすことはありませんが、

バッテリーは使用できません。また、処分するには、地方公共団体の安全廃棄物の方法に従ってください。

バッテリー電源の使用時間は、バッテリーの種類と装置での使われ方によります。以下の方法でバッテリーの使用可能時間を維持します。

- 完全放電を繰り返さない。これはバッテリーに余計なストレスをかけます。一部を放電し充電を何度も行う方が完全放電よりも望ましいと言えます。リチウムイオンバッテリーを部分的に充電することは、メモリ効果がないので、問題になることはありません。
- リチウムイオンバッテリーは涼しい場所において下さい。暑い車の中は避けて下さい。長期間保存する場合は、バッテリーを 40% 程度の充電で保存して下さい。
- リチウムイオンバッテリーを放電したまま長期間使わずに放置しないで下さい。バッテリーは消耗し、寿命は充電を繰り返す場合より半分以下と短くなります。

## バッテリーの充電について

リチウムイオンバッテリーを充電する場合は、周囲の温度を考慮することが重要です。充電は室温あるいはやや涼しい温度で行うのが最も効果的です。バッテリーは 0° C から 40° C の範囲で充電を行うのが基本です。この範囲外でバッテリーを充電すると、バッテリーにダメージを与え、充電する寿命が短くなります。

**ノート!** 0° C以下でバッテリーを充電しないで下さい。内部抵抗が増加し、発熱し、バッテリーが不安定で、安全を損ないます。安全な温度範囲で充電を行うために、バッテリーの温度センサーを使用して下さい。

さらに、バッテリーの膨張を防ぐために、バッテリーは温度保護回路を内蔵しており、バッテリーの温度が 50°Cを超えた場合、充電は行われません。不適當な長時間の充電は、バッテリーの寿命を短くし、またバッテリーの形状が変形を生じることがあります。バッテリーを長時間完全充電状態にせず、また高温の環境に置いたままにしないで下さい。高温の車内に HT682 本体あるいはバッテリーを放置しないで下さい。保管期間が長い場合は、バッテリーを 40%程度充電した状態のままにしてください。リチウムイオンバッテリーは、40%の充電状態で保存すると最も酸化が抑えられます。

## 保存と安全について

数ヶ月間使用されなかった充電済みのリチウムイオンバッテリーの容量は、内部抵抗により消耗します。この場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリーは、-20℃から 60℃ の間で保存することが出来ますが、高い温度ではより早く消耗します。バッテリーは室温で保存されることをお勧めします。

## 保証期間について

---

ユニテック社の保証でカバーされる以下の項目は、通常の使用状況で発生した故障に対して適用されます。

- HT682 - 1 年間.
- ケーブル 1 年間
- バッテリー 3 ヶ月間

保証は、機器の改造、不適切なインストールや使用、事故または不注意による損傷、あるいは何らかのパーツが不適切にインストール、もしくはユーザによって交換された場合等は対象外となります。

付属または当社製のアダプタのみ使用して下さい。間違ったアダプタを使用すると、機器に損傷を与えるだけではなく保証も無効になります。



## 目 次

はじめに .....	i
本マニュアルについて .....	i
認証について .....	ii
FCC 認証について .....	ii
FCC ラベルについて .....	ii
無線電波放射防護について .....	iii
カナダの認証について .....	iii
欧州における規定について .....	iii
RoHS について .....	iii
台湾 NCC 警告について .....	iii
レーザについて .....	iv
バッテリーについて .....	iv
バッテリーの充電について .....	v
保存と安全について .....	vi
保証期間について .....	vi
第1章 概要 .....	1

HT682 の概要.....	1
注意.....	1
保証.....	2
認証.....	2
HT682 仕様 .....	3
HT682 アクセサリー.....	4
通信・充電クレードル .....	4
通信・充電ケーブル .....	4
電源アダプタ .....	4
ホルスター.....	4
リチウムイオンバッテリーパック.....	4
HT682 パッケージの内容とアクセサリー .....	5
HT682 正面 .....	6
HT682 背面 .....	7
HT682 を使用する最初のステップ.....	8
バッテリーパックの取り付け .....	8
バックアップバッテリースイッチをオンにする .....	9
HT682 に電源を供給する .....	9
はじめてメインバッテリーとバックアップバッテリーを充電する.....	10
保護スクリーンフィルム .....	10

HT682 を初めて使う .....	10
初めてタイムゾーンを設定する .....	11
日付/時刻の設定 .....	12
<b>第2章 キーパッドとスキャナの使い方 .....</b>	<b>14</b>
キーパッド .....	14
HT682 ホットキー .....	15
ソフトウェアキーボード (Windows CE キーボード) .....	15
Windows CE キーボードを開く .....	15
バーコードスキャナ .....	16
<b>第3章 電源について .....</b>	<b>18</b>
リチウムイオンバッテリーパックの充電 .....	18
初めてメインバッテリーとバックアップバッテリーを充電する .....	18
充電する環境について .....	18
電源ステータスの表示 .....	19
“バックアップバッテリー電圧低下” アイコン .....	19
リチウムイオンバッテリーパックの充電 .....	19
保管と安全に関する注意 .....	20
明るさの設定 .....	21
ウォームブート / コールドブート .....	21
ウォームブート .....	21
ソフトウェアによるウォームブート .....	22

ハードウェアによるウォームブート .....	22
コールドブート .....	22
ソフトウェアによるコールドブート .....	23
ハードウェアによるコールドブート .....	23
<b>第4章 データ通信 .....</b>	<b>24</b>
概要 .....	24
接続 .....	24
USB ケーブル .....	24
クレードル .....	25
RF 通信 .....	25
ActiveSync の使用方法 .....	25
インストール .....	26
コンピュータとの接続 .....	27
通信設定の変更 .....	28
Wi-Fi 通信 .....	29
Bluetooth 通信 .....	32
<b>第5章 ユーティリティの使い方 .....</b>	<b>42</b>
概要 .....	42
スキャナ設定 .....	42
Scan2Key .....	44
<b>第6章 デバイス設定 .....</b>	<b>45</b>

概要 .....	45
Info .....	45
Funckey .....	46
IO.....	47
Server .....	48
Virtual Key .....	50
Screen .....	51
Ping.....	51
CPU .....	51
Backup.....	52
Battery.....	52
付録_ワールドワイドサポート.....	54



### 概要

## HT682 の概要

HT682 は、皆様の作業をより効率よく、そして役立つように強化された、頑丈で、コンパクト、そして手に持ちやすい Windows CE ベースのハンドヘルドターミナルです。HT682 は、1D レーザまたは 2D イメージャバーコードスキャナ、タッチスクリーン付きのカラー LCD、キーパッド、Bluetooth と無線 LAN を内蔵しています。HT682 は、カスタマイズや操作に標準的な Windows ベースの環境を提供いたします。

以下の HT682 製品ガイドは、HT682 を手にとって使えるようにするために、簡単なステップバイステップの操作方法を説明しています。HT682 のプログラミングについては、SDK とプログラミングマニュアルをご覧ください。



## 注意

1. 本ユニットは、バッテリーパックとバックアップバッテリーを装着しています。Unitech HT682 は長期間保管されたためにバッテリーが放電し、そのために電源が入らない可能性があります。この様な場合、そして初めて使用する場合、HT682 に充電ケーブルを接続するか、クレードルに置き、5V/2A AC-DC アダプタを接続し、バックアップバッテリーも含めて 16 時間以上かけて完全に充電して下さい。
2. 通常の状態では、バックアップバッテリーは外部電源もしくはメインバッテリーから充電されます(メインバッテリーが電源を入れられるだけのパワーを持っている場合)。もし初めて充電する場合は、バックアップバッテリーはメインバッテリーが完全に充電されている間に完全に充電されます。

## 保証

Unitech の保証期間は、各パーツ、アクセサリによって異なります。

- HT682 ターミナル本体は 1 年間
- クレードル本体は 1 年間
- ケーブルは 1 年間
- バッテリーは 3 ヶ月間

## 認証

VCCI, TELEC, CE, FCC, BSMI, UL, CCC に適合しています。



## HT682 仕様

OS とメモリ	CPU	TI OMAP AM3703, 800MHz
	オペレーティングシステム	Windows Embedded Compact Professional 6.0 R3
	Flash ROM	512MB
	SDRAM	512MB
スピーカー	あり	
インジケータ	LED、バイブレータ	
通信インターフェース	USB クライアント、USB ホスト	
拡張メモリスロット	microSD スロット、SDHC サポート、32GB 以下	
無線	802.11b/g/n CCX v4 認証済み Summit 無線 LAN	
	Bluetooth 2.1 + EDR	
ディスプレイ	2.7 インチ、QVGA、カラーTFT LCD、タッチスクリーン	
バーコードスキャナ	1D レーザ、2D イメージャ	
キーパッド	英数字	12 キー
	その他のキー	ファンクション、ALPHA、ESC、ENTER、カーソル、スキャン、電源
重量・寸法	重量(g)	310g ± 10g (バッテリー込み)
	寸法(L x W x H mm)	169 x 55 x 30(突起部を除く)
バッテリー	メインバッテリー	3.7V, 2200mAh, リチウムイオン, 8.14WH
	バッテリー充電時間	4 時間以内
	使用可能時間	Bluetooth 使用時: 12 時間 無線 LAN 使用時: 約 8 時間
	バックアップバッテリー	バックアップ時間、72 時間以内
耐久性/環境	落下	1.8 メートル
	防塵・防水(IP)	IP65
	動作温度範囲	-10°Cから 50°C
	保存温度範囲	-20°Cから 70°C(バッテリーなし)
	湿度	5%から 95%、結露なし
	ESD(静電気)	接触±8KV、エア±12KV
クレードルと充電器	USB クレードル / Ethernet クレードル / モデムクレードル, 4 スロットバッテリー充電器, 通信・充電ケーブル、ガングリップ、4000mAh 大容量バッテリー、バッテリーカバー	

## HT682 アクセサリ

---

以下の各項目は、HT682 の機能を強化するために別途販売されています。

### 通信・充電クレードル

USB クレードルは、HT682のデータ通信と充電のために使用します。モデムクレードルは、電話回線を通したデータ通信と充電のために使用します。

### 通信・充電ケーブル

付属もしくは別売の USB ケーブルは、HT682 ターミナルに直接接続し、データ通信と充電のために使用します。

### 電源アダプタ

この電源アダプタは、通信・充電クレードルまたは通信・充電ケーブルに直接接続し、HT682 に直接電源を供給もしくはバッテリーパックの充電に使用します。この電源アダプタは、100 ボルトから 240 ボルトから変換しますので国内だけではなく、海外でも使用が可能です。

### ホルスター

HT682 を移動時に保護します。

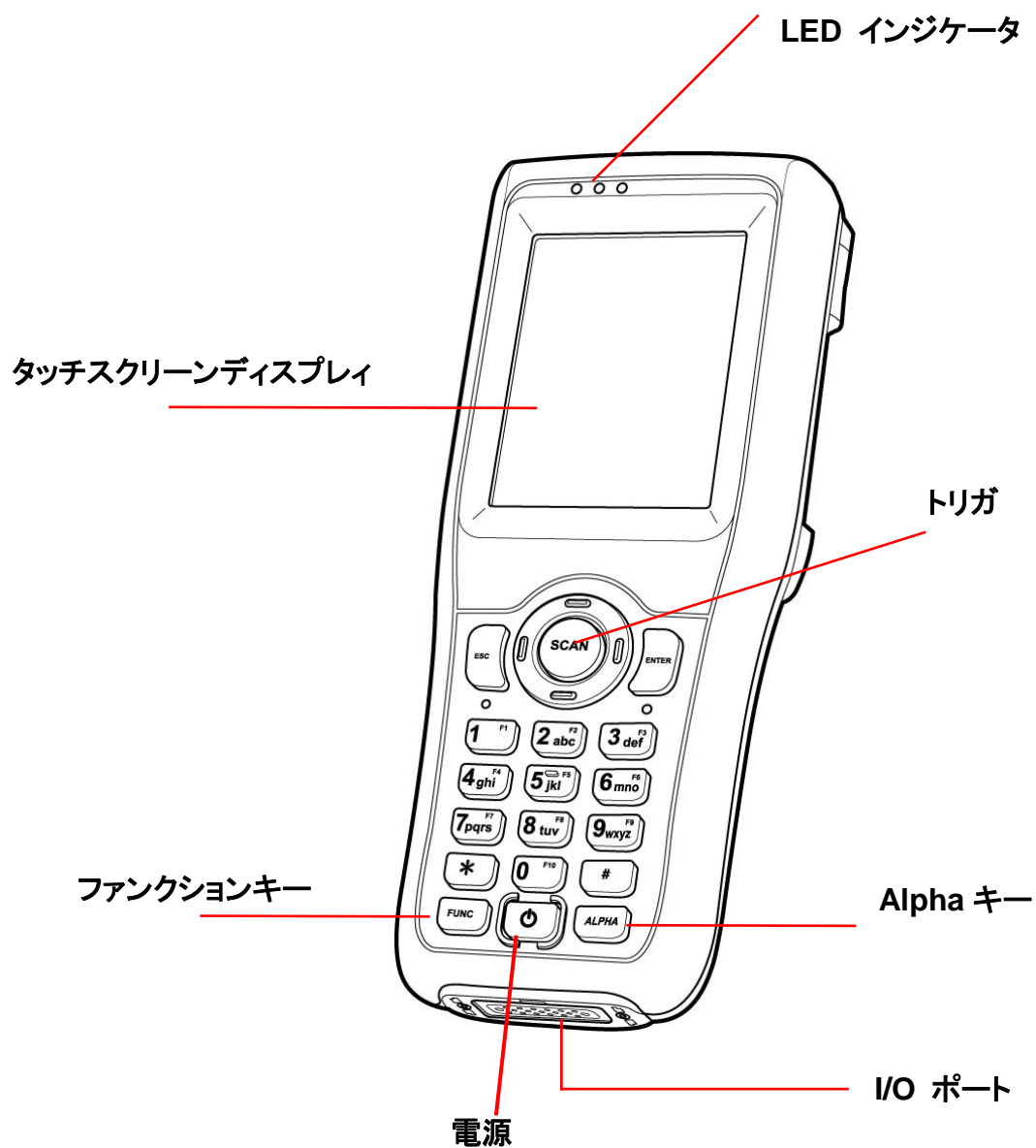
### リチウムイオンバッテリーパック

充電可能な、3.7v, 2200mAh と 4000mAh リチウムイオンバッテリーパック。HT682ターミナルの主電源を供給します。

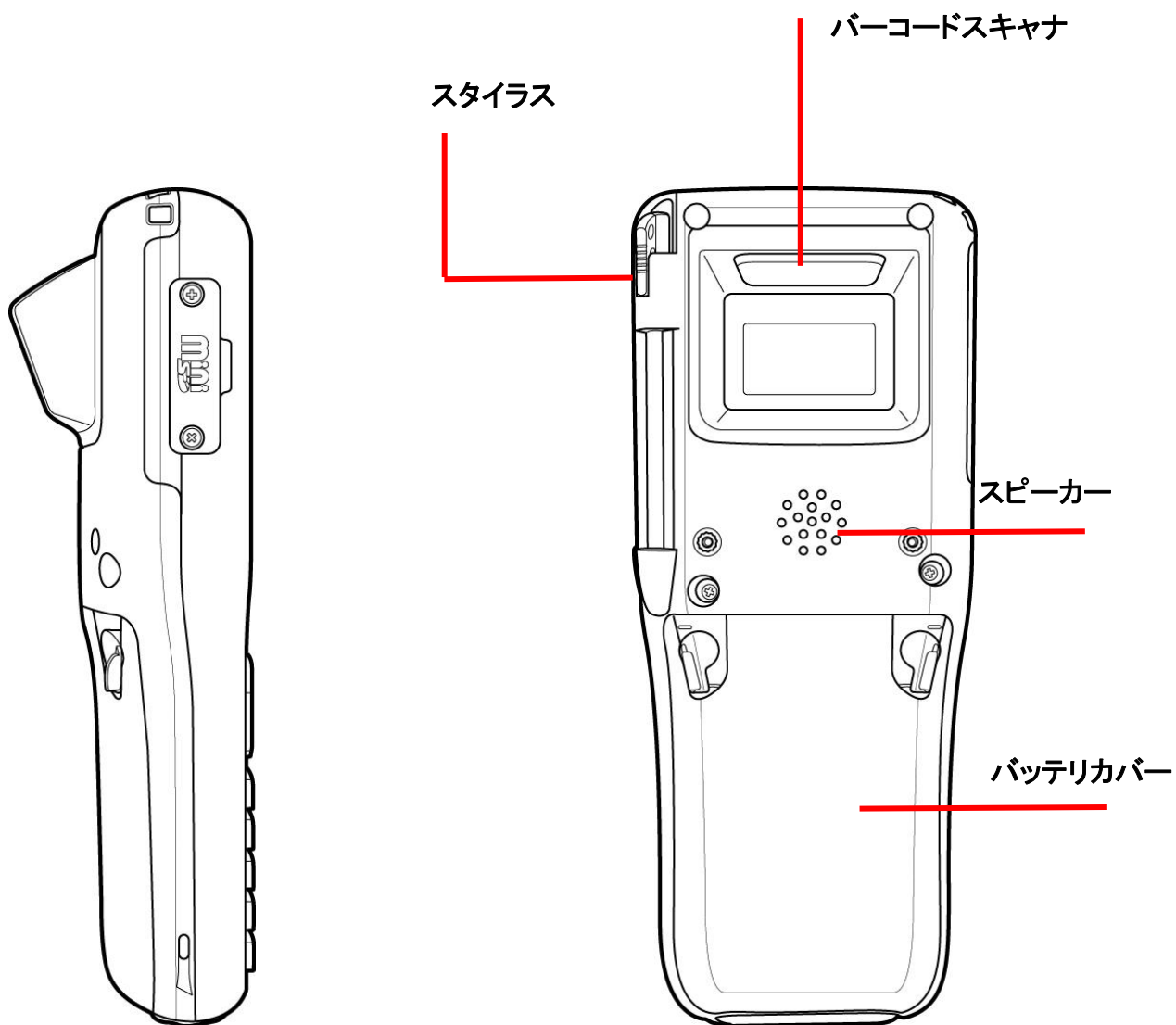
## HT682 パッケージの内容とアクセサリ

	
<p>HT682 ハンディターミナル</p>	<p>マニュアル CD</p>
	
<p>通信・充電ケーブル</p>	<p>バッテリー</p>
	
<p>電源アダプタ</p>	<p>通信・充電クレードル(オプション)</p>

## HT682 正面



## HT682 背面



## HT682 を使用する最初のステップ

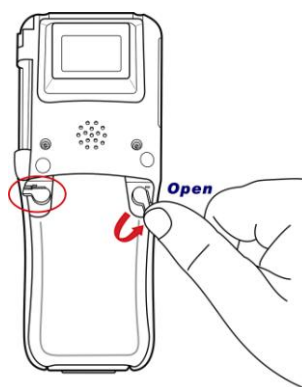
HT682 を初めて使う前に、バッテリーを完全に充電します。HT682 を充電する方法は三通りあります:

- クレードル
- USB・充電ケーブル
- 充電済みのリチウムイオンバッテリーパック

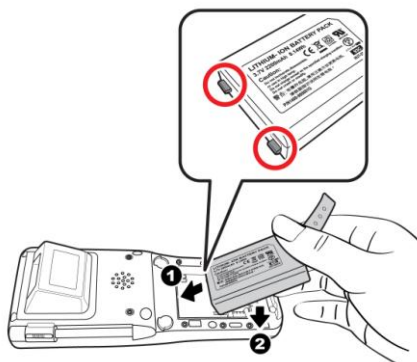
**ノート:** HT682 のバックアップバッテリーが充電されていない場合、データを失うことがあります。メインバッテリーを充電する前に、バックアップバッテリーのスイッチをオンにしてください。

## バッテリーパックの取り付け

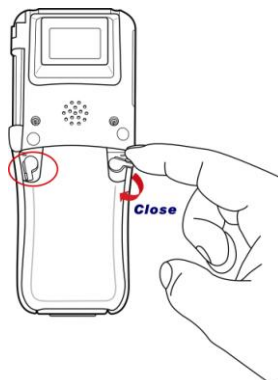
1. バッテリーカバーを外す。



2. バックアップバッテリースイッチをオンにします(次ページの説明を参照)。
3. バッテリーパックのコンタクトがバッテリー収容部のコンタクトと合うようにバッテリーパックを挿入します。バッテリーを滑らせるようにして入れます。

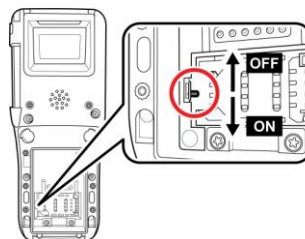


4. バッテリーカバーを閉じます。



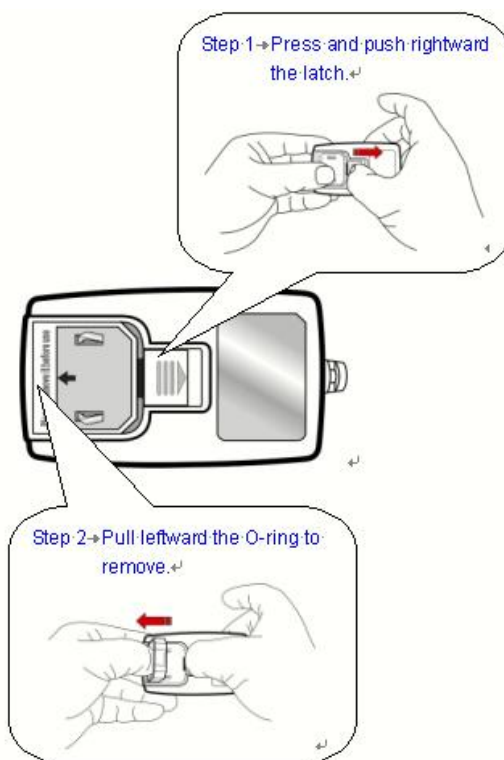
## バックアップバッテリースイッチをオンにする

バッテリー収容部の左側にあるバックアップバッテリースイッチを探します。メインバッテリーを充電する前に“ON”の位置になっていることを確認します。



## HT682 に電源を供給する

もし、適合する AC プラグが取り付けられていない場合、電源アダプタを使用する前に、下図の様にアダプタのソケットから O リングを外します。



1. USB・充電ケーブルを HT682 に接続し、AC アダプタの DC プラグをケーブルの DC ジャックに接続し、コンセントに差し込みます。
2. HT682 を上に向けます。
3. コネクタの矢印面を上にして HT682 をコネクタのネジで止めます。
4. 接続します。

あるいは、HT682 をクレードルに置きます。(AC アダプタをクレードルに接続しておきます。)

## はじめてメインバッテリーとバックアップバッテリーを充電する

初めて使用する場合、16 時間以上充電することをお勧めいたします。バッテリーが放電した後、通常の使用では充電時間は約 4 時間ですが、最初は 16 時間充電して下さい。メインバッテリーを充電している間、バックアップバッテリーも充電されます。バックアップバッテリーのスイッチがオンになっていることをお確かめ下さい。

**注意:** バックアップバッテリーが完全に充電されていない場合、RAM のデータが失われる危険性があります。これは、メインバッテリーが放電し、かつ AC アダプタに接続されていない場合に起こります。このため、最初にメインバッテリーを充電する前にバックアップバッテリーのスイッチを入れることはとても重要です。

## 保護スクリーンフィルム

スクリーンを保護するために、HT682 はプラスチック保護フィルムを使用しています。必要なら外すことが出来ます。フィルムがないとより傷が付きやすくなりますが、見易くなります。

## HT682 を初めて使う

### 電源 ON/OFF キーを押す

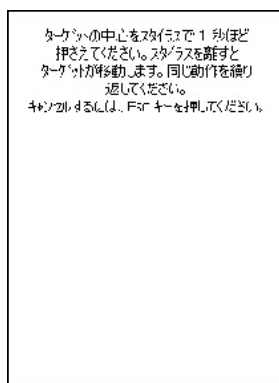
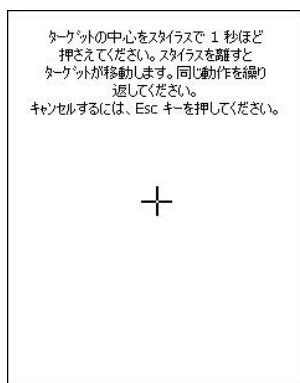
Unitech HT682 ウェルカムスクリーンが現れます。Windows CE スクリーンがその後すぐに現れます。



## スクリーンの補正

指示されるように、スタイラスを使用して、タッチスクリーンを補正するためにターゲットを確実にタップします。

操作を終了したときに、Windows CE システムをスタートするために何かキーを押すか、スクリーンの任意の場所をタップします。



## スクリーンの明るさを調整

スクリーンの標準設定されている明るさを調整するには、バックライト設定が必要です。新しい設定の手順については、20 ページをご覧ください。

## タイムゾーン/日付の設定

HT682 の使用を始める前の数分間を使って日付と時刻を設定します。これにより適切なタイムスタンプが適用されます。



## 初めてタイムゾーンを設定する

タイムゾーンを設定するには、以下のステップを実行します

1. 都市のリストを見るために場所の矢印をタップします。
2. 場所を選びます(あるいはリストされている近い場所)。
3. 必要なら、夏時間のチェックボックスを選択します。
4. 適用ボタンをタップします。

ターミナルで夏時間の時刻調整を自動的に行いたい場合は、「自動的に夏時間の調整をする」をチェックして下さい。（日本国内では当面使用することはありません。）



## 日付/時刻の設定

年と月を選択するには、右または左の矢印をタップしてスクロールします。もしくは、年あるいは月の設定を変えるために直接、年または月をタップします。時刻を設定するには、時/分/秒をそれぞれタップして時/分/秒の値を入力します。（英語版では、AM/PMを指定します。）



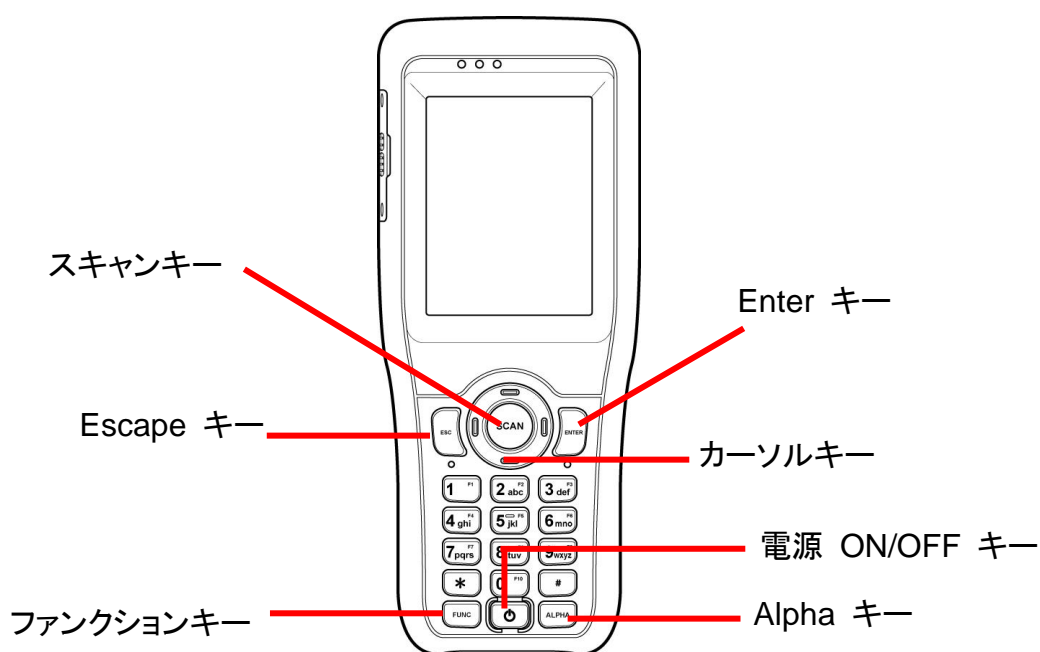


## 第 2 章

### キーパッドとスキャナの使い方

#### キーパッド

0 から 9、アルファ (Alpha)、ファンクション、Escape、Enter、スキャナトリガ、カーソル、そして ON/OFF キーをキーパッドを通して HT682 にデータを入力することが出来ます。



- [ENT] Enter キー、データの入力を確認する
- [FUNC] ファンクションキー、他の数字キーと組み合わせて、ホットキーとして使用 (次ページ参照)
- [ESC] Escape キー、前のページに戻る
- [カーソル] カーソルキー、スクリーンの中を移動する
- [Alpha] Alpha キー、英字モードのオン・オフと Caps モードのオンオフ。Alpha キーを 1 回押すと、英文字入力となり、**青い LED** が表示されます。二回押すと、大文字の入力モードとなり、**緑の LED** が表示されます。三回目は数字入力に戻ります。

## HT682 ホットキー

HT682 は、よく使う機能をホットキーとして提供しています。以下にリストされた機能について、ファンクションキーと数字キーを押して実行します。

Func + 6 = タスクマネージャ

Func + 7 = スキャナ設定

Func + 8 = 電源プロパティ

Func + 9 = システム情報

ホットキーは、ユーザの好みに合わせて変更することが出来ます。ホットキーを変更するには、以下のように行います。

パス: My computer/Windows/RegFuncKey.exe



## ソフトウェアキーボード (Windows CE キーボード)

ハードウェアキーボード以外に、HT682 は文字入力の方法としてタッチスクリーンキーボードを提供しています。このソフトウェアキーボードは、標準の PC キーボードと同じ配置をしています。

### Windows CE キーボードを開く

Windows CE キーボードは、タスクバーの「キーボード」アイコンをタップすることにより開くことが出来ます。



## WinCE キーボードのカナ文字サポート

標準のキーボード入力に加え、HT682 は日本語のカナ文字と記号の入力をサポートしています。文字を入力するには、入力パネルをひらがな/カタカナに切り替えます。



## バーコードスキャナ

HT682 は、主要なバーコードラベルを読み込むことが出来る 1D レーザまたは 2D イメージャーバーコードスキャナ(モデル名による)を内蔵することが出来ます。



## 第 3 章

### 電源について

#### リチウムイオンバッテリーパックの充電

HT682 のバッテリーは、USB 通信ケーブルまたはオプションのクレードルを通して充電することが出来ます。いずれも付属の AC アダプタを使用します。バッテリーの完全充電には約 4 時間かかります。最初に充電する場合は、16 時間以上充電されるようにお願いします。(以下の説明をご覧ください。)

#### 初めてメインバッテリーとバックアップバッテリーを充電する

HT682 を初めて充電する場合、メインバッテリーとバックアップバッテリーの完全な充電に最低 16 時間かかります。HT682 の出荷時は、バックアップバッテリーを保護するためにバックアップバッテリースイッチはオフになっています。HT682 を初めて充電する前に、バックアップバッテリースイッチをオンの位置に切り替えて下さい。バックアップバッテリースイッチは、メインバッテリー収容部にあります。バックアップバッテリーが十分に充電されていない場合、データが失われることがありますので、最初の充電前にバックアップバッテリースイッチをオンの位置にすることは極めて重要なことです。

適正に充電されたバックアップバッテリーは、スイッチを押して電源が入るだけのメインバッテリーの電源がなくなってから 72 時間、あるいはメインバッテリーからの電源がなくても 6 時間データを保持します。ただし、これは勧められません。適当に充電されたメインバッテリーまたは AC 電源を接続し、通常以外もしくは非常な場合でも、バックアップバッテリーに頼らないようにします。バックアップバッテリーの異常によるデータ損失を防ぐために、(常に可能性がある)、メインバッテリーなし、あるいは AC 電源を接続せずにバックアップバッテリーで使用することを出来る限り少なくして下さい。

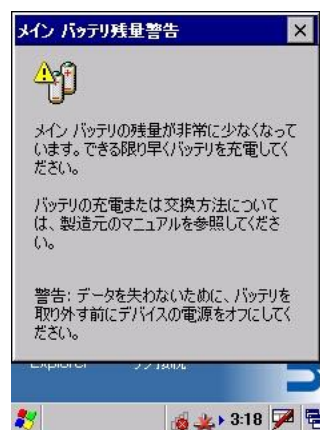
#### 充電する環境について

リチウムイオンバッテリーパックを充電する場合は常に周囲の温度環境を考慮することが重要です。このプロセスは常温もしくは少し涼しい場所で最も効率的です。-5°C から 50°C の一定の範囲でバッテリーを充電することが基本です。指定した範囲外でのバッテリーの充電は、バッテリーに損傷を与え、充電のライフタイムを短くします。



## 電源ステータスの表示

“メインバッテリー残量警告”メッセージが現れた場合、システムシャットダウンを避けるためにできるだけ早くメインバッテリーパックの充電をします。



## “バックアップバッテリー電圧低下” アイコン

“バックアップバッテリー電圧低下”アイコンが現れたら、バックアップバッテリーの電圧が低くなっており、充電する必要があることを示しています。

## リチウムイオンバッテリーパックの充電

### HT682 の自動シャットダウン

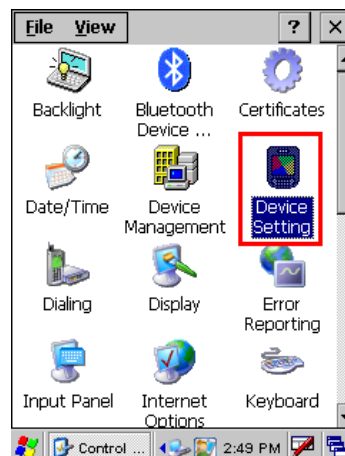
HT682 は、タスクが無い場合、あるいはすべてのタスクが入力待ちになっている場合、アイドルモードに入ります。標準の設定では、HT682 は3分間アイドルが続き、そして外部電源に接続されていない場合、自動的に電源が切れます。電源ボタンを押すと、HT682 は自動的にシャットダウンした時と同じポイントに戻ります。

HT682 を充電クレードルに置いたまま長時間充電をしたり、充電ケーブルで充電したままにしないで下さい。これはバッテリーの寿命を短くし、バッテリーが膨張したりする原因になります。HT682 本体は、高温、多湿、直射日光などでは問題になりません。高温の環境でバッテリーを完全充電にしたままにすることは避けて下さい。高温の社内に HT682 やスペアバッテリーを放置しないで下さい。長期間保管するには、バッテリーを 40% の充電レベルにして下さい。リチウムイオンバッテリーは、40%の充電レベルで保存されたとき最も酸化が少なくなります。

バッテリーの電力を節約するには、無線モードをオフにするのがよいでしょう。無線モードをオフにするには以下のステップで行います。

設定 → コントロールパネル → デバイス設定  
をタップして**デバイス設定**ゾーンに入ります。

あるいは、**Func** キーと“9” ボタンを同時に押して  
**デバイス設定**スクリーンを立ち上げます。



**IO** タブに移動して、無線モードを無効にするた  
めに**無効**を選択します。



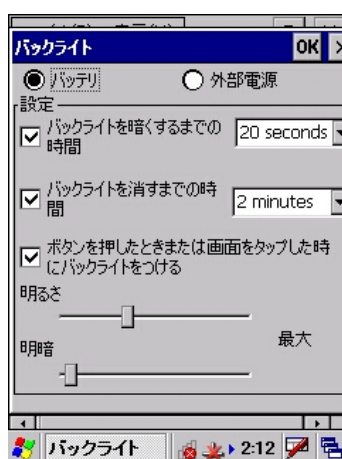
## 保管と安全に関する注意

バッテリーはオープンな環境で保存し、偶発的なショートやその他のダメージを受けない場所において下さい。充電されたリチウムイオンバッテリーは数ヶ月間使われない場合がありますが、その容量はバックアップと内部抵抗のために減ります。これが起こる場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリーは、-20℃ から 70℃ の間で保存して下さい。

## 明るさの設定

カラーディスプレイのバックライトはユーザが設定することが出来ます。二つのオプションがあり、一つはバッテリー電源、もう一つは外部電源です。

フィールド	説明
バックライトを暗くする	バックライトを暗くするまでの時間を秒、分で選択
バックライトを消す	バックライトを消すまでの時間を秒、分で選択
バックライトをつける	ボタンが押されたとき、またはタッチスクリーンがタップされたときにバックライトをオンにしたい場合は、このオプションを選択。



## ウォームブート / コールドブート

### ウォームブート

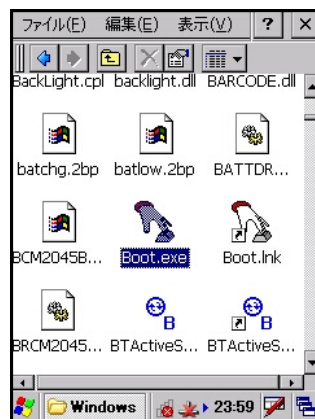
ウォームブートは、保存したデータを失うことなく HT682 を再ブートするためにリセットします。ウォームブートは、以下の場合に行います。

- ターミナルの応答がない
- あるアプリケーションソフトウェアをインストールした後
- ネットワークカード等のあるシステム設定の変更を行った場合

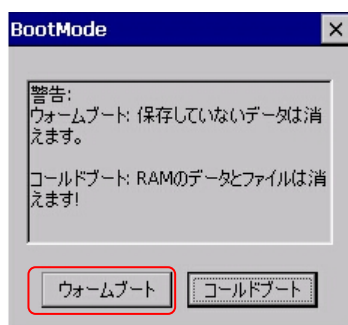
**警告 - ウォームブートを実行すると、保存されていないデータは失われます。**

## ソフトウェアによるウォームブート

スタート → プログラム → Utilities →  
**BootMode** をタップします。



「ウォームブート」をタップします。システム  
は、ウォームスタートします。



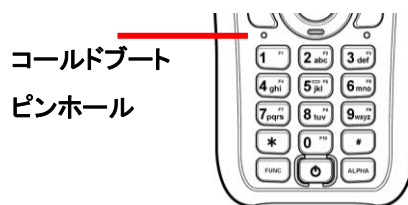
## ハードウェアによるウォームブート

HT682 の表面、キーパッドの上、にあるウォーム  
ブート用ピンホールにクリップを伸ばした  
ピンのようなものを挿入します。



## コールドブート

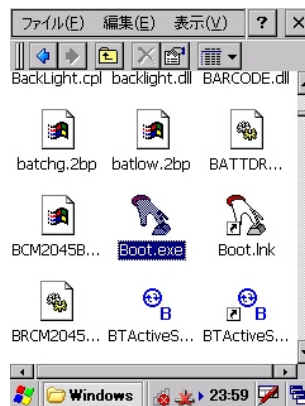
コールドブートは、オペレーティングシステム  
をリセットし、ターミナルを工場出荷時の設定  
に戻します。HT682 のコールドブート用ピンホ  
ールにピンを挿入することによってコールド  
ブートすることもできます。



**警告** - コールドブートを実行すると、HT682 は工場出荷時の設定に戻ります。

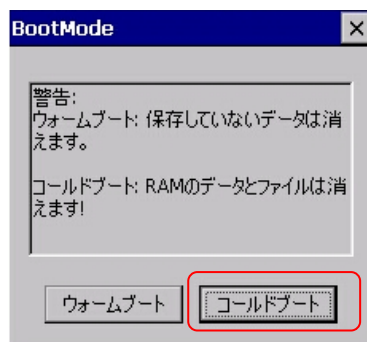
## ソフトウェアによるコールドブート

スタート → プログラム → Utilities →  
BootMode をタップします。



「コールドブート」をタップします。システム  
は再スタートし、工場出荷の標準値に戻りま  
す。

スクリーンの補正をし、日付と時刻をセットす  
る必要があります。



## ハードウェアによるコールドブート

1. メインバッテリーを外す
2. バックアップバッテリーのスイッチをオフにする
3. バックアップバッテリースイッチをオンにする
4. メインバッテリーを入れる
5. ターミナルはコールドスタートし、工場出荷標準値に戻る
6. スクリーンを再補正し、日付と時刻をセット

# データ通信

## 概要

Unitech HT682 は、ホストコンピュータと USB、Bluetooth、あるいは無線 LAN によってリンクすることが出来ます。

本章は、HT682 の通信の概要を説明します。以下のセクションはこれらのトピックスについて説明しています。

- ▶ ・ ケーブルまたはクレードルによる“USB またはモデム”通信
- ▶ ・ HT580 とホストコンピュータ間の無線通信による“RF 通信”
- ▶ ・ USB ポートによるシリアル通信を使用する “Microsoft ActiveSync” または Windows Mobile デバイスセンター

## 接続

### USB ケーブル

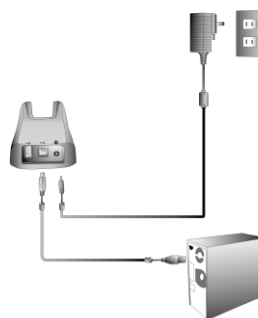
HT682 通信ケーブルの USB 側を PC の USB ポートに挿入し、もう一方を HT682 の通信ポートに接続します。同時に HT682 を充電するには、AC アダプタの DC プラグを USB コネクタの DC ジャックに差し込みます。



## クレードル

### USB クレードル

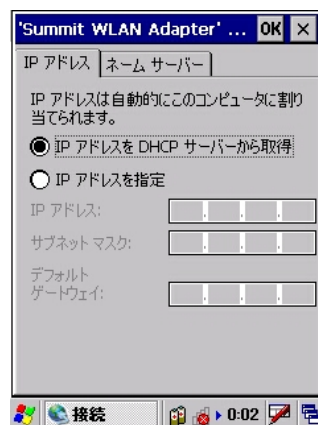
データ通信をするには、クレードルに付属の USB ケーブルの USB コネクタをクレードルに、もう一方のコネクタを PC の USB ポートに差し込みます。同時に HT682 を充電するには、AC アダプタをクレードルの DC ジャックに差し込みます。



## RF 通信

Windows CE は TCP/IP プロトコルをサポートしており、ユーザは「ネットワークとダイヤルアップ出力」の設定を通してインターネットとリンクすることが出来ます。

ネットワークとダイヤルアップ接続で、インターネット接続の IP 設定のために PEISM1 へ進みます。



## ActiveSync の使用方法

Microsoft ActiveSync を使用して、デスクトップコンピュータとターミナル間の同期と転送を行うことが出来ます。ActiveSync の最新版はマイクロソフトの Web サイト <http://www.microsoft.com> からダウンロードすることが出来ます。

### その他の機能

ActiveSync では、以下のことが出来ます。

- データのバックアップと復元
- ターミナルとコンピュータ間でファイルをコピー(同期ではなく)
- 同期モードを選択したときに発生する同期をコントロールする。例えば、コンピュータに接続されている間連続して同期する、あるいは同期コマンドを選択した場合にのみ同期する。
- どの情報タイプを同期するかを選択し、データを同期する大きさをコントロールする。例えば、過去何週間分の予定を同期するかを選択する。



インストールを開始する前に、以下を注意してお読み下さい。

- インストール中にコンピュータを再起動しますので、すべてのプログラムの作業を終了します。
- 通信設定を行うには、HT682 とホストコンピュータを接続するための USB ケーブルが必要です。
- サービスパック付きの Windows NT® オペレーティングシステムを使用している場合、サービスパックを再インストールするようにセットアップ中に情報が表示されます。まず接続し、うまくいかなかったら、最新のサービスパックを再インストールします。

## 何が必要か

同期するには、ActiveSync バージョン 3.7 以上を PC とターミナルの両方にインストールする必要があります。HT682 ターミナルは既に ActiveSync をインストールしています。従って、PC にのみ ActiveSync をインストールする必要があります。

コンピュータに ActiveSync をインストールするには、Microsoft の Web サイトからプログラムをダウンロードします。

## インストール

Microsoft ActiveSync をインストールするには以下のインストール手順に従い、HT682を PC に接続し、そして必要なら同期するためのパートナーシップを確立します。

PC と HT682 間でデータを交換するために、Microsoft ActiveSync をコンピュータにインストールするか、Window Mobile デバイスセンターを使用します。HT682 に付属している USB ケーブルまたはクレドルを使用して PC と接続します。

**ノート:** 皆さんの PC に旧バージョンの Microsoft ActiveSync がインストールされている場合、最新版をインストールする前に、まず Microsoft ActiveSync をインストール前にアンインストールをして下さい。

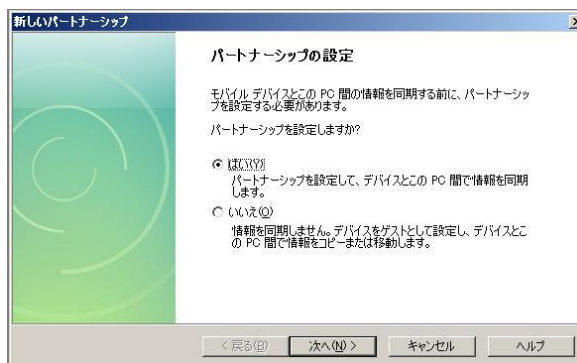
PC に Microsoft ActiveSync をインストールする方法: Windows 7 以降の場合はインストールの必要はありません。

1. スタートアップから実行したプログラムを含む全てのプログラムを閉じ、そしてウィルススキャンソフトウェアを無効にして下さい。
2. 以下の Microsoft ActiveSync ダウンロードページから ActiveSync ソフトウェアをダウンロードします。  
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?Fami-lyID=7269173a-28bf-4cac-a682-58d3233efb4c&DisplayLang=en>.
3. ダウンロードしたファイルのアイコンをダブルクリックします。インストールウィザードが始まります。
4. Microsoft ActiveSync のインストールスクリーンの指示に従います。



## コンピュータとの接続

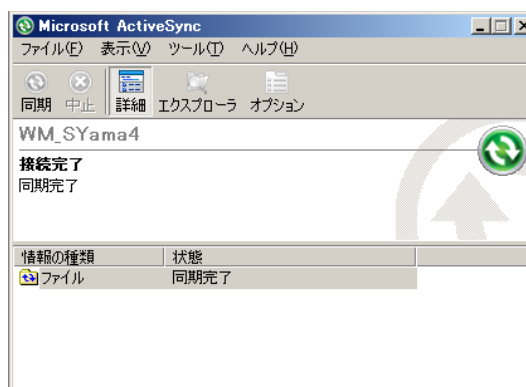
1. ActiveSync をインストールした後で、HT682 と PC の接続で説明したように、HT682 と PC を接続します。
2. HT682 の電源を入れます。
3. ActiveSync は自動的に始まり、HT682 で使用するために USB を設定します。新しいパートナーシップ設定ウィザードが自動的にスタートします。



**ノート:** ActiveSync が自動的にスタートしない場合、スタート → プログラム → Microsoft ActiveSync をクリックします。

**ノート:** 接続が出来ないことを表すメッセージが現れた場合、取り消しボタンをクリックし、マニュアルで通信の設定を行います。

4. スクリーンの指示に従います。
5. 設定プロセスが終わったら、Active-Sync ウィンドウが現れます。



6. 同期が初期化され、選択した、「定期的に同期する」、あるいは「接続時に同期する」のいずれかが行われます。

**ノート:** PC は、複数の HT682 とパートナーシップを作ることができます。また、HT682 は、2 台までのコンピュータとパートナーシップを作成することができます。

## 通信設定の変更

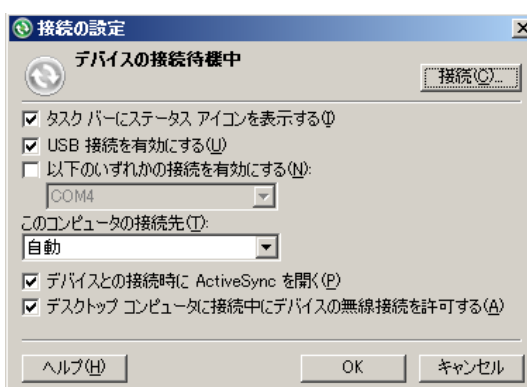
Microsoft ActiveSync がインストール中に HT682 の検出に失敗した場合、代わりにマニュアルで通信をセットアップします。以下の状態にあることを確認して下さい。

- 正しいコンピュータの通信ポートが選択されており、しかも空いていることを確認して下さい。
- Microsoft ActiveSync は、HT682 と接続するために指定された通信ポートを使用します。これらのリソースが Microsoft ActiveSync で HT682 と接続するために使用可能であることを確認して下さい。他のプログラムは HT682 とコンピュータが接続されている間は使用することが出来ません。
- HT682 の転送速度をセットします。コンピュータはそれに合わせます。

通信設定をチェックするには、モバイルデバイスフォルダを開き、ファイル/接続設定をクリックします。HT682 の接続は、標準では USB 接続となっています。

接続を調整するには、スタート、設定、コントロールパネル、をタップし、通信アイコンを選択、PC 接続タブを選択、そして接続変更... ボタンをタップします。

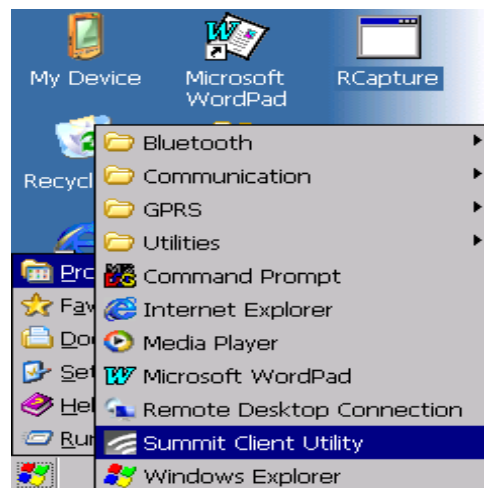
詳細については、Microsoft ActiveSync のヘルプをご覧ください。



## Wi-Fi 通信

HT682 は、WiFi の信号が受信できる場所でインターネットにアクセスすることのできる Wi-Fi モジュールを内蔵しています。以下は、HT682 の Wi-Fi 接続を説明しています。

1. タスクバーの  アイコンをタップして “**Summit Client Utility**” を立ち上げます。  
あるいは、**プログラム**、そして **Summit Client Utility** をタップします。



2. **Summit Client Utility** ダイアログボックスで、**Configuration** タブをクリックして移動します。



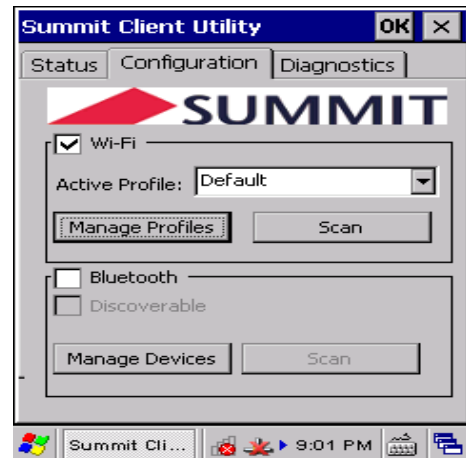
3. **Configuration** タブで、**Wi-Fi** ボックスの下に **Manage Profiles** ボタンをクリックし、**Manage Profiles** ダイアログボックスを開きます。

4. **Manage Profiles** ダイアログボックスで、**Admin Login** タブをクリックします。

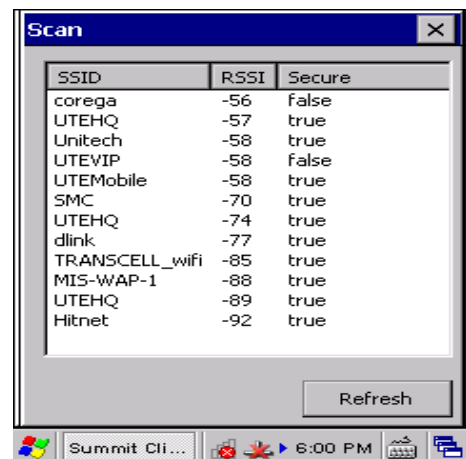


5. **Enter Admin Password** フィールドにパスワードを入力します。(パスワードの標準値は、“SUMMIT”です。)

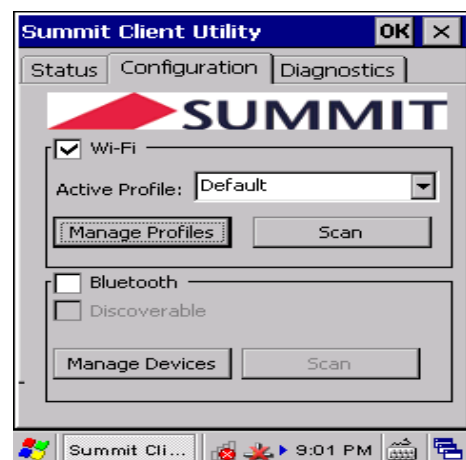
3. **Configuration** タブで、**Wi-Fi** ボックスの下の **SCAN** ボタンをタップし、そして HT682 は、現在使用可能になっている無線ネットワークサービスを検出します。



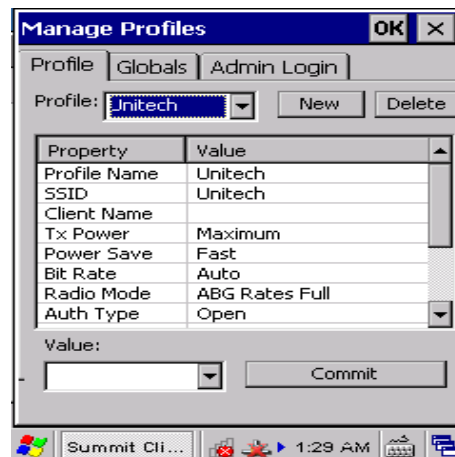
4. すべての使用可能な Wi-Fi ホットスポットのリストがポップアップした **SCAN** ダイアログボックスに表示されます。



5. 設定タブに戻り、**Manage Profiles** ボタンをクリックします。



6. **Manage Profiles** ダイアログボックスで、**Profile** ドロップダウンリストをタップし、選択した Wi-Fi サービスを表示します。





7. If logging into the 選択した Wi-Fi サービスにログインする場合、パスワードが必要です。スクロールバーを最後に移動して、**Passphrase** をタップします。



8. ログインパスワードを入力して、**Commit** ボタンをタップします。

**ノート:** ログインパスワードについては、Wi-Fi サービスプロバイダにお問い合わせ下さい。


9. タスクバーの Wi-Fi 信号強度表示が  から  に変わった場合、Wi-Fi 接続が正しく出来ていることを表します。



SUMMIT ユーティリティの詳細については、SUMMIT 社の Web サイト website: (<http://www.summitdatacom.com/documentation.htm>) をご覧下さい。

## Bluetooth 通信

内蔵の Bluetooth モジュールにより、HT682 は Bluetooth デバイス Bluetooth を使ったデータ転送を行うことができます。

1. タスクバーの  アイコンをタップすることによって“Bluetooth Manager” プログラムを立ち上げます。 **プログラム**をクリックし、**Bluetooth** をクリックし、そして **BTMAN** をクリックします。



2. **Bluetooth Manager** が立ち上がります。**Service** タブの下に 5 つのアイコンがあります:  
**About**、**Power OFF (ON)**、**FTP**、**ActiveSync**、そして **Modem** です。

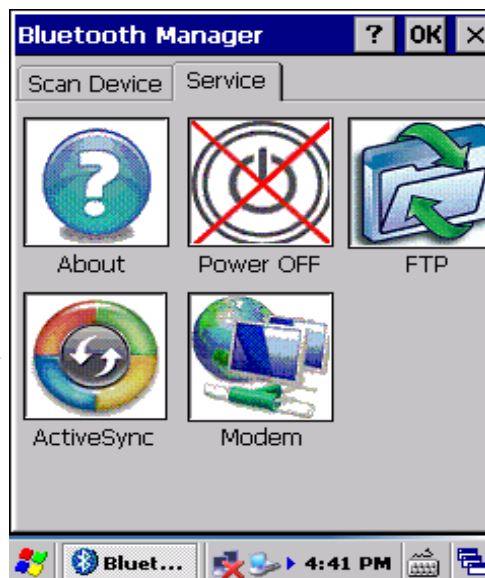
**About:** ソフトウェアのバージョン、BT アドレス、その他の必要な情報を表示します。

**Power OFF/ON:** BT モジュールをオン・オフします。

**FTP:** Bluetooth デバイスとの間でファイルの送信または受信を行います。

**ActiveSync:** HT682 と PC 間でファイルの同期を行います。

**Modem:** モデムとして携帯電話を使用してインターネットにアクセスします。

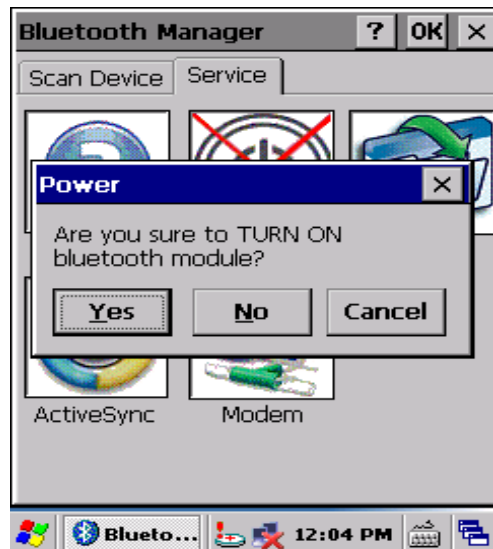


3. Bluetooth モジュールを有効にするために  
**Power OFF** アイコンをタップします。



4. **Yes** をクリックしてメッセージを確認します。

**Power OFF**  は、**Power ON**  に  
変わります。

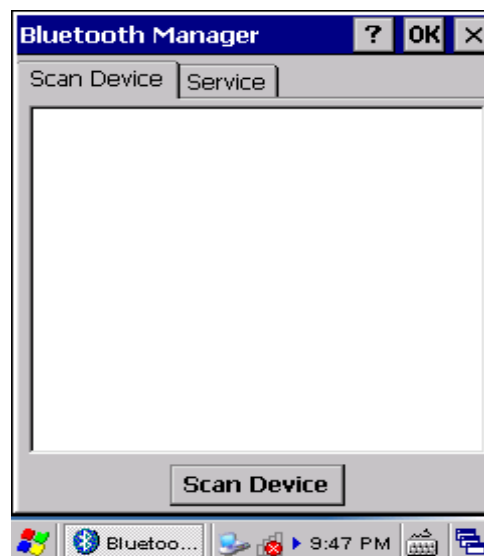


5. **Scan Device** タブをクリックします。



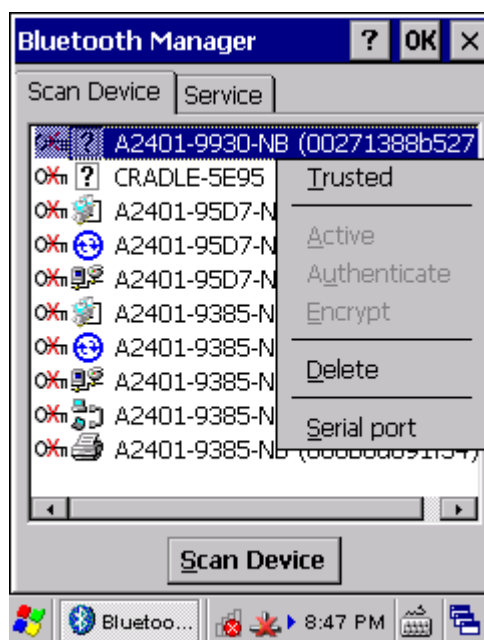


6. 使用可能な Bluetooth デバイスを見つけるために **Scan Device** をタップします。



7. 検出された使用可能なすべての Bluetooth デバイスがリストされます。

信頼されたデバイスとして特定の一つを受け入れるには、ダブルクリックして、コンテキストメニューの **Trusted** を選択し、そして **Yes** をタップしてポップアップメッセージボックスを確認します。





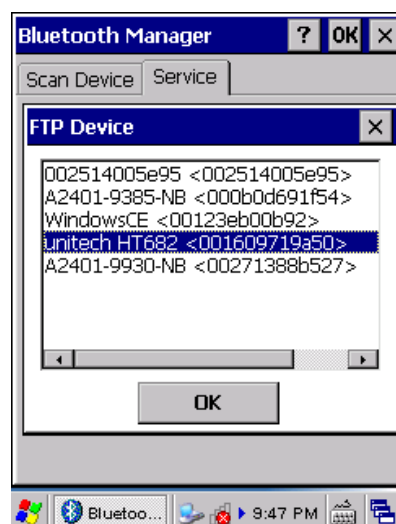
## FTP (ファイル転送プロトコル)

この機能は、HT682 と Bluetooth デバイスとの間でファイルの転送を行います。

1. **Service** タブで、**FTP** アイコンをクリックします。

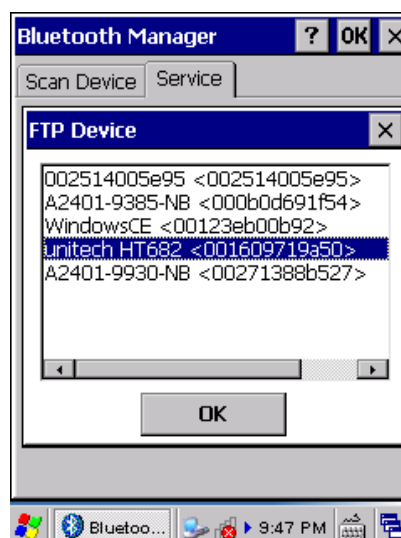


2. HT682 は、使用可能なすべての Bluetooth デバイスを検出し、FTP Device ダイアログボックスの下にリストします。



3. Bluetooth 接続をしたいデバイス (スレーブデバイス) を選択し、**OK** をタップします。

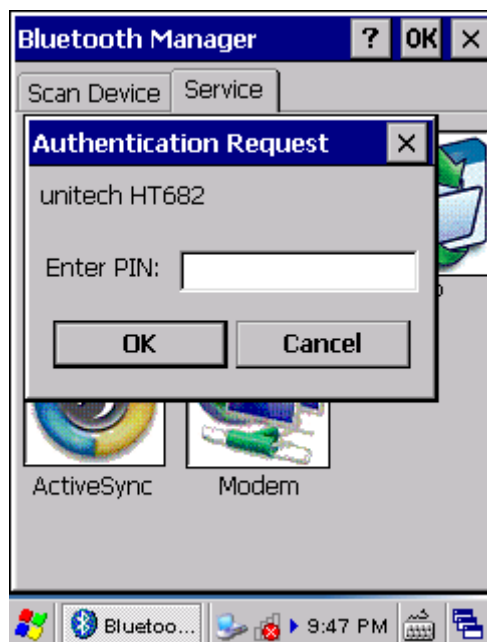
ここでは、例として他の Unitech HT682 と接続しようとしています。



4. スレーブの HT682 のスクリーンで、マスターからの Bluetooth 接続要求を受信しています。**Authentication Request** ダイアログボックスが表示されます。

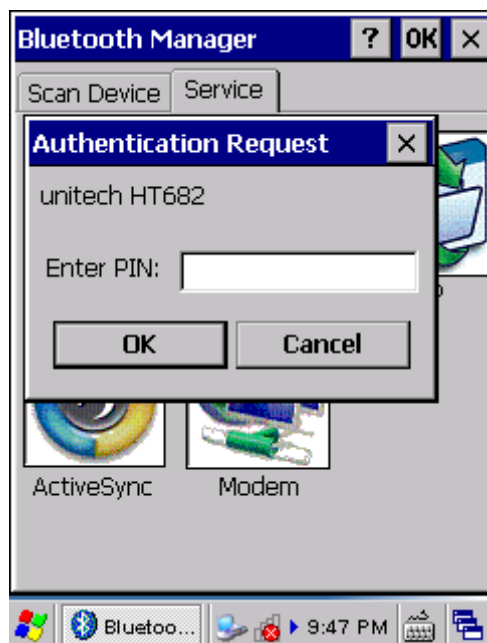
PIN コードを入力して、**OK** をタップします。

**ノート:** HT682 の標準の PIN コードは、“0000”です。他のデバイスの PIN コードについては、それぞれのメーカーに問い合わせして下さい。

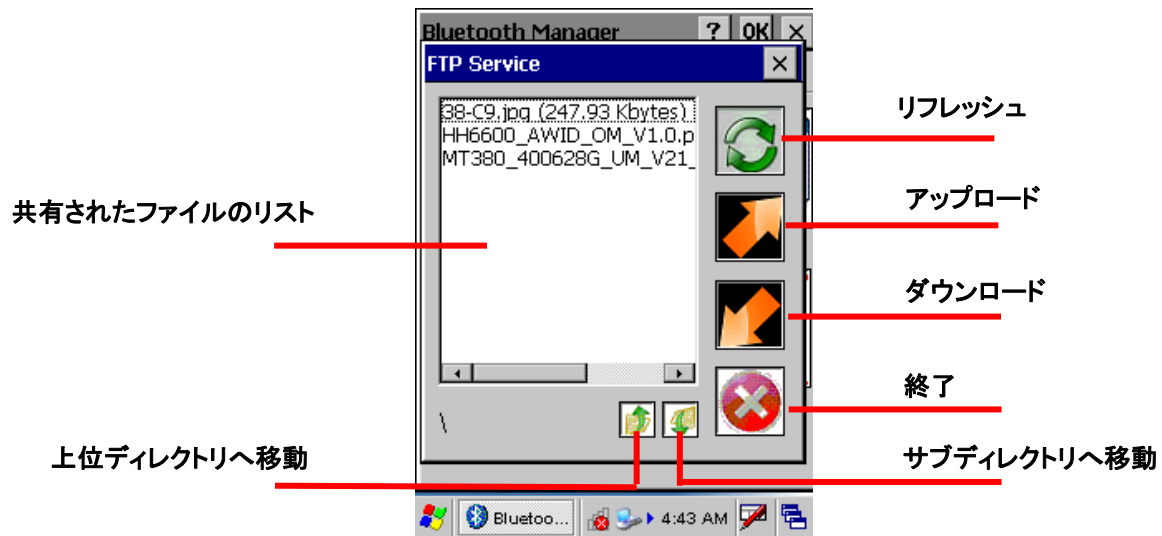


5. スレーブデバイスが Bluetooth 接続要求を受け付けたら、マスターHT682 のスクリーン上で、**Authentication Request** ダイアログボックスが表示されます。

PIN コードを入力して、**OK** をタップします。

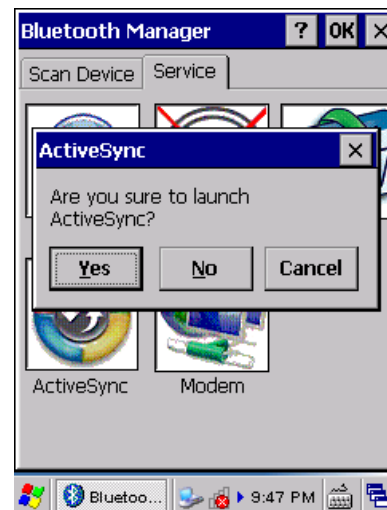


FTP サービスダイアログボックスは、データ転送を行うことが出来るマスターHT682 のスクリーンに表示されます。

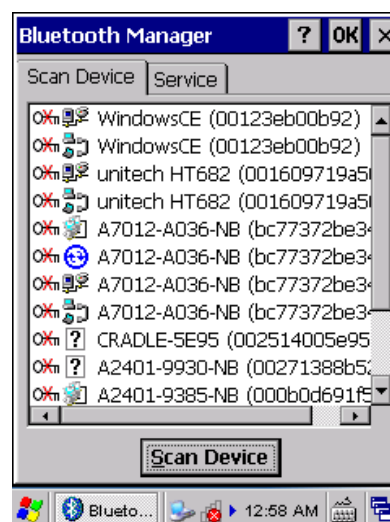


## ActiveSync

1. **Service** タブで、**ActiveSync** アイコンをタップし、そしてメッセージボックスを確認するために **Yes** をタップします。



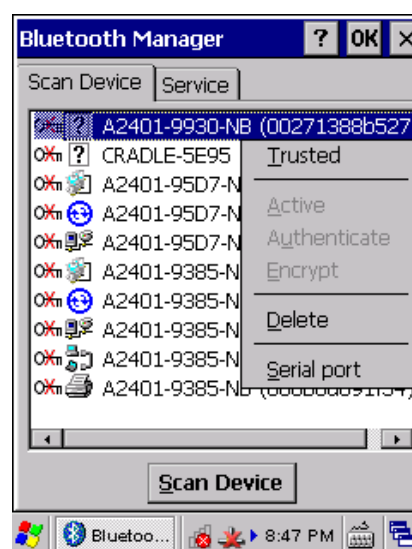
2. **Scan Device** タブに移動して、**Scan Device** をタップすると、使用可能な全てのデバイスがリストされます。



3. 同期するためにデバイスまたはデバイスが提供する **Bluetooth** サポート機能を選択し、ダブルクリックし、コンテキストメニューの **Trusted** を選択して、そして **Yes** をタップすることによってポップアップメッセージボックスを確認します。

4. 同期させることを選択したデバイスで、認証の **PIN** コードを入力します。HT682 の標準の **PIN** コードは “0000” です。

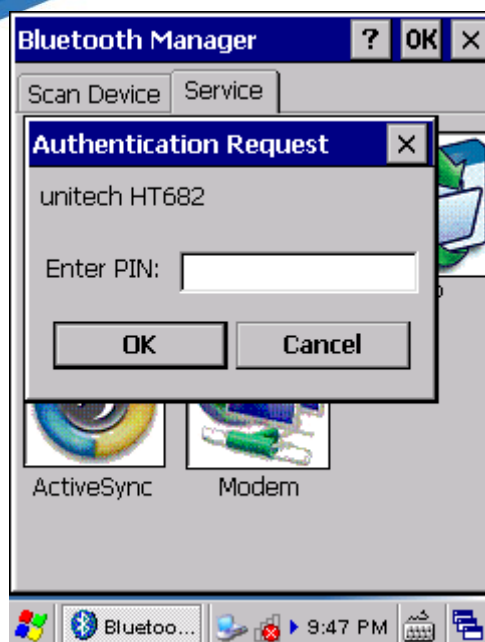
**ノート:** それぞれのデバイスとオペレーティングシステムは、独自の **Bluetooth** 認証手順を持っています。詳細に付きましては、各デバイスのメーカーにお問い合わせ下さい。



5. HT682 と同期するように選択されたデバイスは、HT682 のスクリーンで同期要求を受け、**Authentication Request** ダイアログボックスが表示されます。

PIN コードを入力し、**OK** をクリックします。

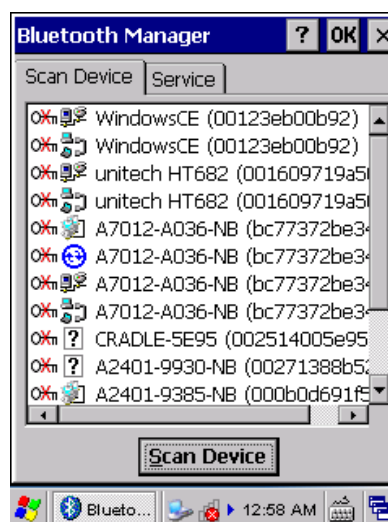
HT682 の標準の PIN コードは “0000”




## Modem

HT682 は、インターネットにアクセスするためにモデムとして成功したインターネット接続を確立した Bluetooth サポートされたデバイスを使用することができます。

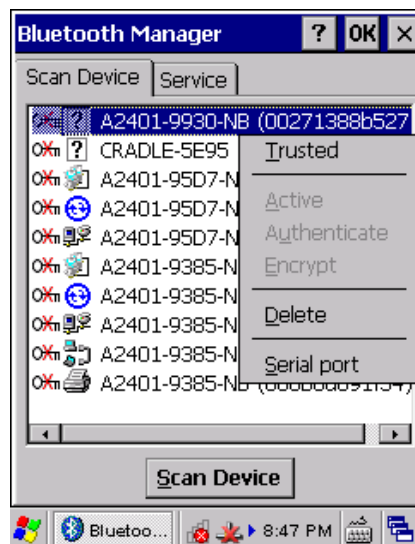
1. **Scan Device** タブに移動します。すべての使用可能なデバイスがリストされます。



3. インターネットサービスアイコン  の付いた項目を選択し、ダブルタップし、コンテキストメニューで **Trusted** を選択し、そして **Yes** をタップすることによってポップアップメッセージボックスを確認します。

4. 同期をするために選択されたデバイスで、認証 PIN コードを入力します。HT682 の標準の PIN コードは “0000” です。

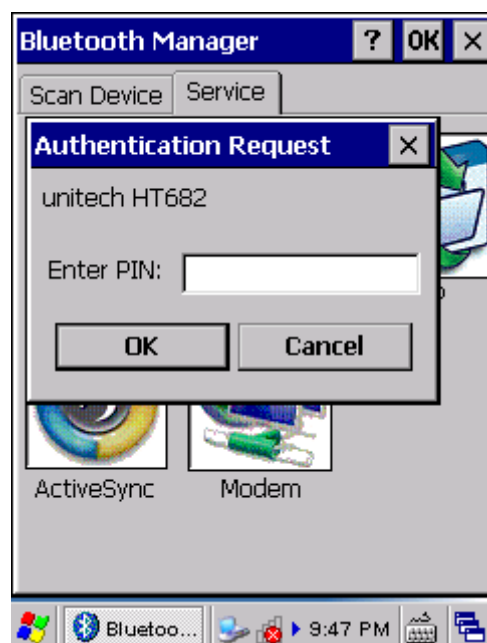
**ノート:** それぞれのデバイスとオペレーティングシステムは、独自の Bluetooth 認証手順を持っています。この情報については、デバイスのメーカーにお問い合わせ下さい。



5. HT682 と同期するように選択されたデバイスは、HT682 のスクリーンで同期要求を受け、**Authentication Request** ダイアログボックスが表示されます。

PIN コードを入力し、**OK** をクリックします。HT682 の標準の PIN コードは “0000”

これで HT682 はインターネットにアクセスすることが出来ます。





## 第 5 章

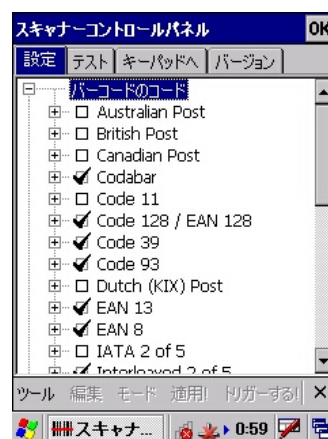
# ユーティリティの使い方

## 概要

ユニテックは、ユーザのアプリケーションに便利なユーティリティを提供しています。以下は Unitech ユーティリティの概要です。

## スキャナ設定

別のアプリケーションで標準のバーコードシンボル設定を変更する必要がある場合、スキャナコントロールパネルは、シンボル標準値の変更、スキャンしたデータの後にデリミタ文字を置く、そして設定を保存することができます。スタート/設定/コントロールパネル/Scanner からこのプログラムを実行するとスキャナコントロールパネルが表示されます。



## バーコードシンボル

バーコード シンボル	有効/ 無効	チェック デジット /文字 検証	チェック デジット/文字 送信	先頭文字 送信	その他
Bookland EAN	YES				
Codabar	YES	YES	YES		スタート/ストップ ビット送信, CLSI フォーマット, *データ長
Code 11	YES		YES		* チェックデジット, *データ長
Code 128	YES				*データ長
Code 32	YES				末尾桁送信
Code 39	YES	YES			ASCIIの場合



バーコード シンボル	有効/ 無効	チェック デジット / 文字 検証	チェック デジット/文字 送信	先頭文字 送信	その他
					スタート/ストップピット送信, フ ァンクションコード, 二重ラベル デコード, *データ長, *二重ラベ ルセパレータ
Code 93	YES		YES		*データ長
Deta Code	YES	YES	YES		
EAN 128	YES		YES		コード ID, * フィールドセパレー タ送信
EAN 13	YES	YES			
EAN 8	YES	YES			* 先頭または末尾桁送信しな い, *データ長
Interleaved 2 of 5	YES	YES	YES		固定長, * 先頭または末尾桁 削除しない, *データ長
Label Code IV&V	YES		YES		
MSI/Plessey	YES		YES		* チェックデジットダブルモジュ ール 10, * データ長
Interleaved 2 of 5	YES	YES	YES		固定長, *データ長
Telepen	YES				*標準文字セット
UPC A	YES		YES	YES	
UPC E	YES		YES	YES	ゼロ拡張, NSC
UPC/EAN Group					補助 2, 補助 5, 補助コードの 前にスペース挿入, 補助コード 必須, *アドオンコードトライレベ ル
Group GS1	YES				

ノート: \*印は、スキャナコントロールパネル V3.0 以降で値を調整可能

## バーコードシンボル 2D

バーコード シンボル	有効/ 無効	チェック 文字 / デジット 検証	チェック 文字/デジット 送信	先頭桁 送信	その他
Aztec	YES				Runes, *データ長

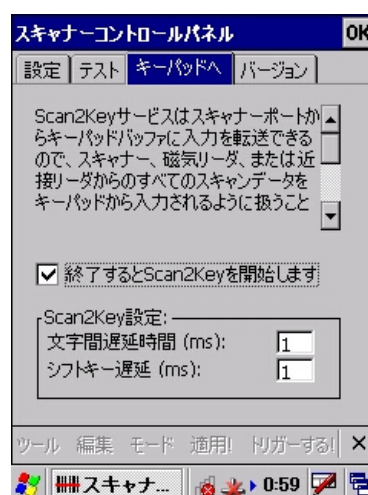
バーコード シンボル	有効/ 無効	チェック 文字 / デジット 検証	チェック 文字/デジット 送信	先頭桁 送信	その他
Codablock F	YES				*データ長
Code 49	YES				*データ長
Data Matrix	YES				*データ長
EAN-UCC Composite	YES				UPC コンポジット, *データ長
MaxiCode	YES				*データ長
MicroPDF417	YES				*データ長
OCR	YES				OCR モード, OCR ディレクション, テンプレート, グループ G, グループ H, チェック文字
PDF-417	YES				*データ長
QR Code	YES				
TLC-39 (TCIF Linked Code 39)	YES				

ノート: \*印は、スキャナコントロールパネル V3.0 以降で値を調整可能

## Scan2Key

Scan2Key アプリケーションは、スキャナポートからの入力をキーボードバッファに送るので、これにより、すべてのスキャンしたデータはキーボードから入力したかのように扱われます。これを使うと、スキャンしたデータはMicrosoft ワードパッドのような汎用的なアプリケーションに直接入力することができます。Scan2Key は、スタート/設定/コントロールパネル/Scanner/キーボードへのタブから起動することができます。

「終了すると Scan2Key を開始します」にチェックを付け、OK をタップします。



## デバイス設定

### 概要

デバイス設定は、Function Key, I/O, Server 等々のデバイス情報の表示と設定を行うためのショートカットです。以下の説明は、すべての設定項目についてカバーしています。

1. マイデバイスのコントロールパネルをタップします。



2. デバイス設定をダブルタップします。



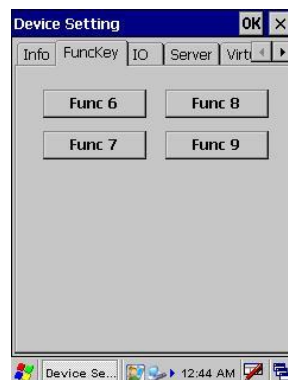
### Info

Info タブは、OS バージョン、メモリ容量、バッテリー電源、製品 ID 等の、この HT682 の一般情報を表示します。

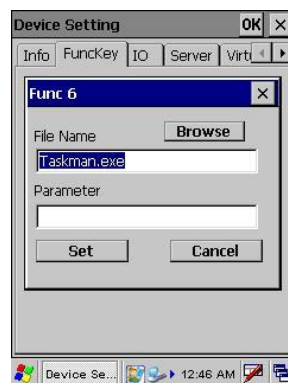


## Funckey

1. “FuncKey” タブをタップします。4つのホットキーをユーザが変更することが出来ます。



2. “Func6”. をタップします。ファイルを選択するために “Browse” をタップします。 “Set” をタップします。



3. Press “Func” キーと “6” キーを押します。Func6 は、ユーザの指定したアプリケーションを呼び出します。
4. Func7、Func8、と Func9 についても同じステップを繰り返すことが出来ます。

標準設定:

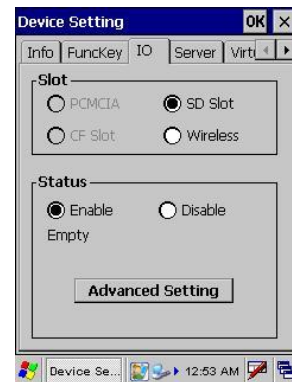
Func6 – タスクマネージャ

Func7 – スキャナ設定

Func8 – 電源プロパティ

## IO

1. “IO” タブをタップします。

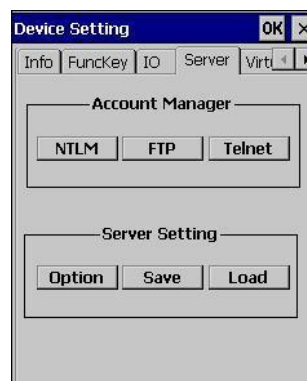


2. Status の “Enable” または “Disable” を選択します。

- 有効な場合、SD/ ワイヤレスカードは常にアクセスすることが出来ます。無効な場合、SD/ワイヤレスカードはアクセスすることが出来ません。

## Server

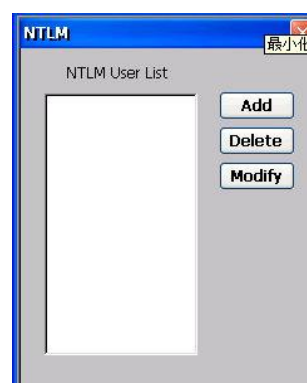
サーバーマネージャは、NTLM (Windows NT LAN Manager) ユーザ、FTP ユーザと Telnet ユーザの管理をするためのツールです。



## Account Manager

### NTLM

- “Server” タブをタップします。
- “NTLM”.をタップします。新しいユーザを追加するために “Add” をタップします。



- ユーザ名とパスワードを入力します。OK をタップします。
- ユーザのパスワードを変更するには、ユーザを選択して “Modify” をタップします。
- 新しいパスワードを入力し、パスワードを確認します。OK をタップします。
- ユーザを削除するには、削除したいユーザを選択して、 “Delete” をタップします。

## FTP

1. “FTP” タブの下で、FTP ユーザを追加するために “Add” をタップします。



2. ユーザを選択して、“Add” をタップします。
3. FTP ユーザを削除するには、ユーザを選択して “Delete” をタップします。ダイアログボックス – “Do you want to delete the user X?” が表示されます。 “Yes” をタップします。

## Telnet

1. “Telnet” タブの下で、“Add” をタップします。NTLM から Telnet ユーザを追加します。
2. ユーザを選択して “Add” をタップします。

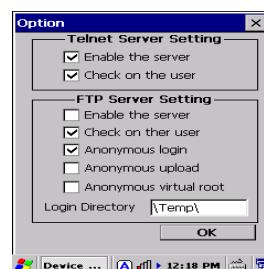


3. Telnet ユーザを削除するには、ユーザを選択して “Delete” をタップします。ダイアログボックス – “Do you want to delete the user X?” が現れます。 “Yes” をタップします。

## Server Settings

### Option

1. “Option” をタップします。



Telnet サーバ設定については、サーバを有効/無効にします。

2. FTP サーバ設定については、サーバを有効/無効にし、そして **Anonymous** ログインを定義します。

## Save

サーバ設定を保存するために “**Save**” をタップします。

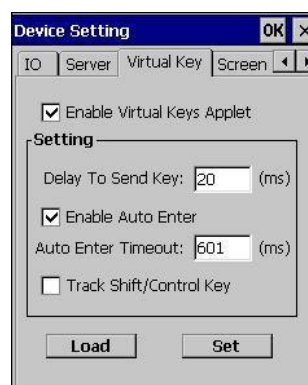
## Load

サーバ設定を読み込むために “**Load**” をタップします。

## Virtual Key

このツールは、HT682 キーパッドの英字キーの有効/無効、自動 **Enter** と文字間遅延のセットが出来ます。

1. “**Virtual Key**” タブをタップします。

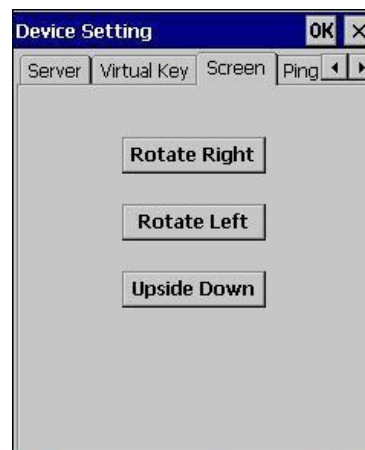


2. “**Enable Virtual Keys Applet**” をチェックします。“**Set**” をタップします。 **OK** をタップします。
3. MS WordPad を開き、英字キーをテストします。“**alpha**” キーを押し、そして数字キーを押します。文字は、英字キーとして出力されます。
4. “**Enable Virtual Keys Applet**” のチェックを外します。“**Set**” をタップします。 **OK** をタップします。
5. “**alpha**” キーを押し、そして数字キーを押します。文字は非英字キーとして出力します。
6. “**Virtual keys**” で、“**Delay To Send Key**”の遅延時間を入力します。文字は定義された速度で出力されます。
7. “**Virtual keys**”で、“**Enable Auto Enter**” をチェックします。
8. “**Auto Enter Timeout**” の値を定義します。“**Set**” をタップします。 **OK** をタップします。
9. MS WordPad で、Alpha モードに変更します。キーを押したままにします。英文字がループの中でハイライトされます。キーを離します。フォーカスされた文字は、**Auto Enter** タイムアウトされた時間により、ある時間の後で出力されます。
10. 以前の設定を読み込むには、“**Load**” をタップします。



## Screen

1. Rotate Right. Screen をタップすると右側に回転します。
2. Rotate Left. Screen をタップすると左側に回転します。
3. Upside Down. Screen をタップすると上下逆になります。



## Ping

このツールは、HT682 がネットワークに接続されている時に LAN ネットワーク上の他のデバイスに PING を発することが出来ます。

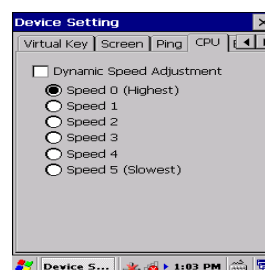
1. “Ping” タブをタップ、**ホスト**フィールドに PING を送りたいデバイスの IP アドレスを入力します。
2. “**連続 Ping**” をチェックすると、HT682 はリモートのデバイスに連続して PING を送ります。
3. “**開始**” をタップします。HT682 は、入力した IP アドレスのデバイスを探します。見つからない場合、“Request Time Out”が表示されます。リモートデバイスが見つかった場合、“Host Responding” を見る事が出来ます。



## CPU

性能要件により CPU の速度を選択することが出来ます。

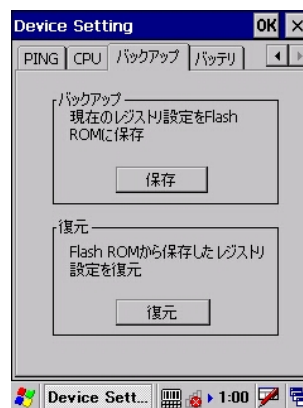
“Dynamic Speed Adjustment” をチェックするか、変更したい CPU 速度を選択します。s



## Backup

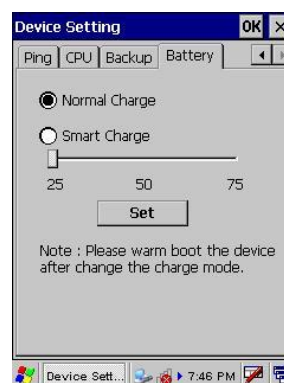
このツールは、現在のレジストリを保存するか、工場出荷標準値にリセットします。

1. “Backup” タブをタップします。
2. 現在のレジストリ設定を保存するために “Save” をタップします。
3. あるいは、工場出荷標準値にレジストリをリセットするために “Restore” をタップします。HT682 はウォームスタートします。(Note that レジストリ設定が以前に保存されていない場合は、“Restore” ボタンは灰色のままです。)



## Battery

このツールは、ドラッグしたレベルにバッテリーの電力が減ったときに、すぐに **Smart Charge** モードでバッテリーの充電をすることができます。充電モードを変更した後で、デバイスのウォームブートが必要です。**Smart Charge** モードでバッテリーを充電するときにはいつも、デバイスをオンにします。標準の充電モードは、**Normal Charge** です。





## ワールドワイドサポート

ユニテック社の専門サポートチームは、皆様からのご質問や技術に関するサポートに速やかに対応しています。使用している機器について問題が起こった場合、お近くのサービスセンターにご連絡下さい。連絡先の情報につきましては、以下の Web サイトをご覧ください。

Region	Web Site
本社	<a href="http://www.ute.com">http://www.ute.com</a>
台湾 (Unitech Taiwan)	<a href="http://tw.ute.com">http://tw.ute.com</a>
Unitech アジアパシフィック & 中東	<a href="http://apac.ute.com">http://apac.ute.com</a> ; <a href="http://india.ute.com">http://india.ute.com</a>
中国(Unitech China)	<a href="http://cn.ute.com">http://cn.ute.com</a>
ユニテック・ジャパン(Unitech Japan)	<a href="http://jp.ute.com">http://jp.ute.com</a>
米国(Unitech America)	<a href="http://us.ute.com">http://us.ute.com</a> ; <a href="http://can.ute.com">http://can.ute.com</a>
ラテンアメリカ(Unitech Latin America)	<a href="http://latin.ute.com">http://latin.ute.com</a>
欧州(Unitech Europe)	<a href="http://eu.ute.com">http://eu.ute.com</a>